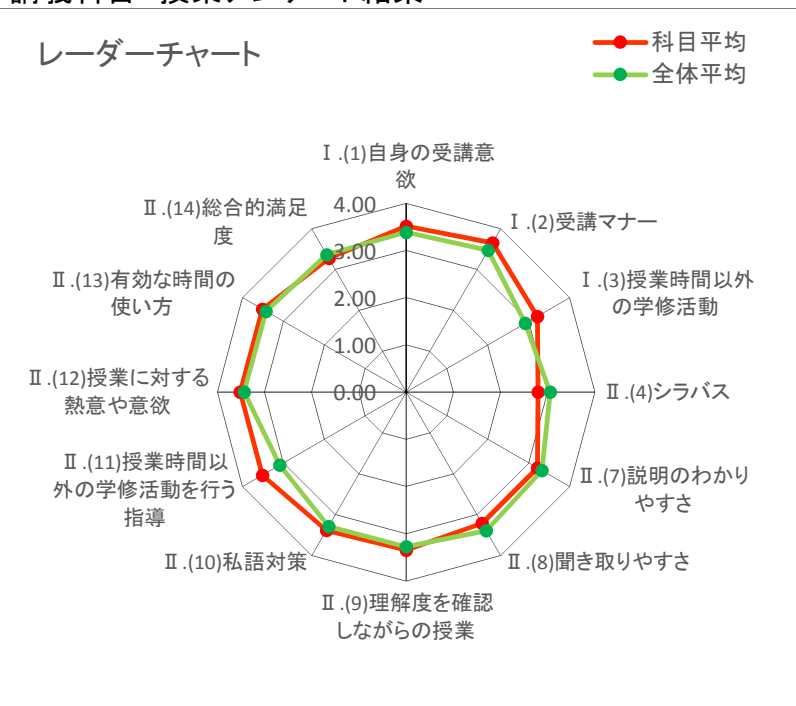
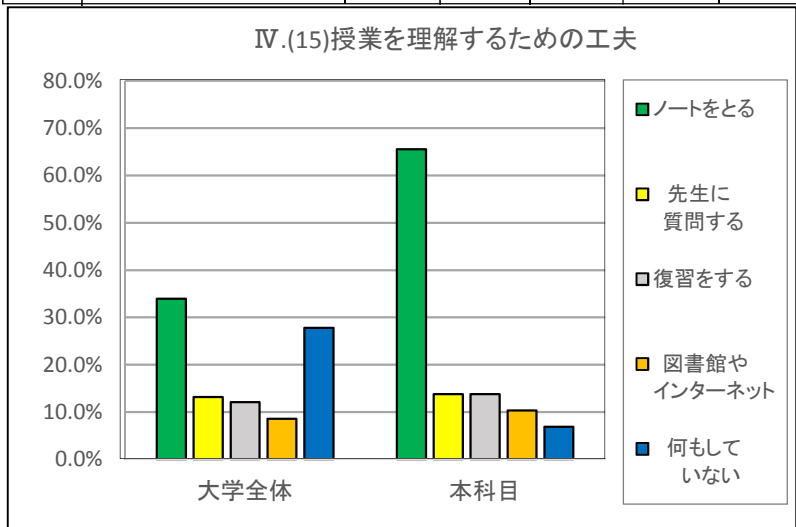


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	65.5%	13.8%	13.8%	10.3%	6.9%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.52	3.39
	I.(2)	3.66	3.47
	I.(3)	3.21	2.91
受講内容・方法	II.(4)	2.79	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.21	3.32
	II.(8)	3.21	3.39
	II.(9)	3.34	3.27
	II.(10)	3.38	3.28
	II.(11)	3.52	3.09
	II.(12)	3.52	3.43
	II.(13)	3.52	3.43
満足度	II.(14)	3.28	3.36

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	42106
科目名	英会話Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

本授業は、「英会話Ⅰ」で学習した文法・語彙を発展させながら、相手と自分の背景の違いを認識し、どのような意図で相手が言葉を発し、それに自分がどのように答えるのかという他者との関係を意識した英語コミュニケーション能力の向上を目指した。同科目であっても、各クラスごとに達成度は異なるが、台本発表により、他者との関係を意識するコミュニケーションとは何か、他者という存在意識を持ってもらえたのではないかと考える。

②授業の進め方について

毎回めあてを提示しながら、受講生の様子を見て復習を加えるように工夫した。それが、Ⅱ.9に表れている。また、集中して聞くと、クラスメイトと英会話する場面の区別がはっきりとできるよう配慮した点が私語対策に示されている。授業ではできるだけ視聴覚教材となるようにしつつ、クラスメイトとのやり取りで授業に集中できるような時間帯を随時加えるようにした。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

3クラス中でも、「ノートをとる」が最も高いクラスであった。しかし、ノートを見てみると、授業内板書にとどまっているノートが多いのが残念であった。授業内で大事と感じたポイントを自分なりに加えたり、自分なりに検討事項を調べたりするとともに英語力が向上した学生が出てきていたと考えられる。それでも、授業内は集中し、積極的に取り組んでいる様子だった。今後も英語学習を続け、英語コミュニケーション力をアップしてもらいたい。授業改善として、この点をもっと伝え、少しでも自宅学習のヒントになることを授業内に加えていきたい。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.46	3.26
I.(1)～(3)		
講義内容・方法	3.31	3.28
II.(4)～(13)		
総合的満足度	3.28	3.36
III.(14)		